



5月の安全就業重点事項

◆事故の発生状況◆ 令和元(2019)年度

	2019年 4月発生分	年度 累計	前年同月 発生分
傷害事故	0	0	0
賠償責任事故	0	0	0
計	0	0	0

不安全状態・不安全行動の徹底排除



<具体的推進事項>

- ① 仲間の不安全行動はためらわずに注意
- ② 危険な作業はしない・させない
- ③ ヒヤリ・ハットを皆で共有

このような「不安全行動」を減らす方法

- ⇒ 「指差呼称」「指示などを復唱する」
- 「メモをする」「会員同士の声がけ」
- 「不安な時は先へ進まず、まず確認」
- 「間違いにくい手順に改める」 など

(心に潜む危険の芽) 自分の心に問いかけましょう
「面倒くさい」「みんながやっているから」
「早く終わらせたい」「今まで大丈夫だったから」

不安全状態・不安全行動とは

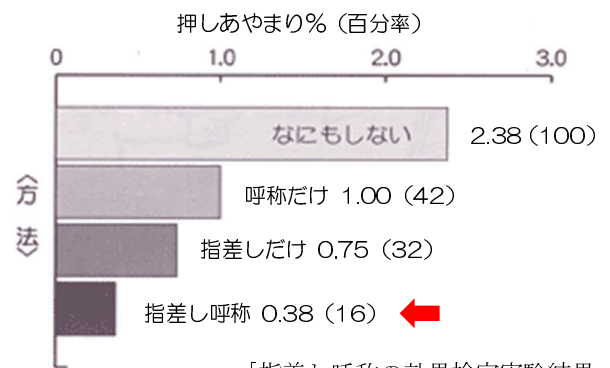
「**不安全状態**」とは、就業中に使用する設備、機械、器具、工具等や、就業場所の作業環境などの、「物の面」で、各々の危険・有害性(要因)に対する**安全が確保されていない「状態**」をいいます。

「**不安全行動**」とは、作業する会員本人や作業関係者などの、「人の面」で、決められた安全な作業方法や安全ルールを実行しなかった、あるいは、体調不良とか、ついっかきぼんやりして実行できなかったなどのような、**安全でない「行動**」をいいます。

就業場所には危険をはらむものが少なくありません。しかし、就業前に現場を十分に確認し、用具・機械を十分に点検することで不安全状態は大きく解消できます。

効果的な「指差呼称」

鉄道総合技術研究所の研究によると、指差し呼称をした時は、何もしなかった時と比べてミスを6分の1に減らす効果が見られたそうです(下図)。



「指差し呼称の効果検定実験結果」
(平成8年(財) 鉄道総合技術研究所)

無意識におこなってしまう不安全行動

- 聞き間違い・見間違いなどの勘違い
- 思い違い、記憶違い、思い込み
- やり忘れ
- 思わず(反射的に)

裏面に正しい指差し呼称の実践方法を掲載しました。人前で実践するのは最初は抵抗があるかもしれませんが、安全に真摯に取り組む姿に、周囲の方は安心感を持ってくださることでしょう。安全・安心の両面からもぜひ実践しましょう。

裏面もご覧ください

指差し呼称の正しい実践法

締まった形をつくる!



キビキビした動作で!



①対象を見る

②指を差し

③耳元へ

④振り下ろす



間をとる



呼称項目を〇〇と唱えながら右腕を伸ばし人差し指で対象を指差し、対象をしっかりと見る

右手を耳元まで振り上げながら、本当に良いか考え確かめる

確認できたら「ヨシ!」と唱えながら確認対象に向かって腕を振り下ろす

今年度は安全パトロールを強化します

当センターでは毎年、月1回役職員による安全パトロールを、7～8月は安全委員も加えて計9回の夏季重点パトロールを実施しています。

今年度は、6月から11月までの間、全国的に事故の多い剪定・除草現場へのパトロールを、上記パトロールに加えて重点的に実施します。

「不安全状態が放置されていないか」「不安全行動をしていないか」「保護具を適切に使用しているか」を中心に見せていただきます。

重なる指導にも関わらず改善されない班には、就業停止等の措置がなされます。



そろそろ熱中症への備えを始めましょう

熱中症は、5月から搬送者が増えてきます。今後、屋外での就業の機会が増えますので、水分補給や休息など、一人ひとりが注意するとともに、周囲の人にも気を配り、声をかけ、みんなで熱中症を予防しましょう。

また、熱中症への注意レベルは気温だけでは測れません。天気予報等で「暑さ指数」を確認し、熱中症予防に生かしましょう。暑さ指数は、携帯電話等でも確認できます。

<読取方法>

携帯電話の「バーコード読み取り」または「QRコード読み取り」を起動し、カメラで右のQRコードを読み取りましょう。

(注) 通信費がかかります



「暑さ指数」携帯サイト (QRコード)



「ヒヤリ・ハット報告」の提出にご協力ください。あなたのヒヤリ・ハットが仲間を守ります! 「ヒヤリ・ハット」は就業報告書の連絡欄または裏面にご記入ください。ヒヤッとしたら即記入!